

芸術	必修選択	科目名	美術 I	担当者	
使用教科書		高校美術 I (日本文教出版)			
履修学年		第 1 学年	履修単位	2 単位	
学習の目標	美術の幅広い創造活動をととして、美的体験を豊かにし、美術を愛好する心情を育てるとともに、感性を高め、創造的な表現と鑑賞の能力を伸ばす				
評価基準 及び方法	①興味・関心・意欲	美術の創造活動の喜びを味わい、多様な表現方法や美術文化に関心をもち、主体的に表現や鑑賞の創造活動に取り組むことができたか			
	②知識・技術	創造的な美術の表現をするために必要な技術を身に付け、意図に応じて、表現方法を工夫して表すことができたか			
	③発想・創造	感性や想像力を働かせて、感じ取ったことや考えたこと、目的や機能、美しさなどから主題を生成し、想像性豊かな作品を制作できたか			
	授業への取り組み・片付け・清掃・作品の完成度・プリント提出・作品提出(各課題の締切日は必ず守る)など総合的に評価				
その他留意点	刃物の扱い方には十分に気を付け、安全教育を徹底する				

学習計画

月	内容・考査など	学習内容及び教材など	時間配分
4	○オリエンテーション	・ 1年間の授業の流れを知る(美術 I の概要)	2
5	○デザイン	・ バランス感覚と色彩感覚を養い、文字を美しくレイアウトする	1 4
6	(数字と幾何学模様 の構成)		
7	○陶芸(花鉢をつくる)	・ 沖縄の陶芸について歴史や概要及び製作過程を学び、たたら作りで湯飲みやカップ、皿などの作品を制作する	8
	○絵画(読書感想画)	・ 読んだ本の感動を1枚の絵に表現する 読書感想画コンクールに出品 (アイディアスケッチは、夏休みの課題)	2
9	(読書感想画)	・ 読んだ本の感動を1枚の絵に表現する 読書感想画コンクールに出品 (下描く～着彩まで)	1 0
10			
11	○絵画	・ 風景、人物、静物、想像画、模写、平面構成の中から課題を選びアクリル絵具の扱いを学ぶ	1 6
12	(自由画)		
1	○立体	・ シナベニヤを使い個性豊かなオリジナル写真立てを制作する	1 6
2	(フォトスタンド)		
3	○鑑賞・学年の反省	・ 1年間の制作した作品を振り返り、今後の作品制作に役立てる	2

※変更のある場合があります

※鑑賞(校内作品展、教科書、校外展示会)は随時取り入れます